科目名	国語Ⅳ（ Japanese Ⅳ ）						
学　年	学　科(コース)	単　位　数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数
第4学年	電気工学科	学修	1 単位	必修	講義	前期	45 時間
担　当　教　員	【常勤】 教授　薄井　信治						

学　習　到　達　目　標

科目の到達目標レベル	読者を意識した、パラグラフライティングを教えていく。各演習課題について、アウトラインを作るポイントをつかませ、実際に作文に書くときの注意事項を理解して作文を書かせる。 ①演習課題について、アウトラインを作ることができる。 ②アウトラインをもとに、論理的で平易な文章で作文を書くことができる。 ③アウトラインをもとに、説得力ある文章で作文を書くことができる。

到達目標（評価項目）	優れた到達レベルの目安	良好な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安
到達目標①	アウトラインが合格し、作文にとりかかることができる。（アウトラインのサポーティングセンテンスが具体的でエピソードになっている）	アウトラインが合格し、作文にとりかかることができる。（トピックセンテンスがつながり、サポーティングセンテンスがトピックを十分サポートしている）	期限までにトピックセンテンスのきちんとしたアウトライン用紙を提出できる。	期限までにアウトライン用紙を提出することができない。
到達目標②	パラグラフ構成を筋道の通ったものにできる。	サポーティングセンテンスでトピックをサポートできる。	パラグラフ内のセンテンスを正しく構成できる。	トピックセンテンスを正しい位置に置いてないので、トピックを明確にできない。
到達目標③	具体例をエピソードにできる。	具体例を複数のセンテンスで書ける。（抽象的に、具体例が列挙してある）	1センテンス程度の具体例が書ける。	具体例が書けない。

学習・教育到達目標	(G)①	JABEE基準1（2）	(f)

達　成　度　評　価　（%）

評価方法 / 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		10	90						100
知識の基本的な理解【知識・記憶、理解レベル】		◎	◎						
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】		○	○						
汎用的技能【論理的思考力】		○	○						
態度・志向性(人間力)【　】									
総合的な学習経験と創造的思考力【　】									

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	国語Ⅰ　国語Ⅱ　国語Ⅲ
教科書	
補助教材等	プリント、「理科系の作文技術」木下是雄（中公新書）

学習上の留意点

課題に沿ったアウトラインを作成し、授業の前日までに提出することが大前提である。チェックを受けたアウトラインが合格レベルに到達するまで、作文にはとりかかれない。授業で説明を受けた、パラグラフ構成のヒントを利用し、早めにアウトラインを提出してもらいたい。真摯に作文に取り組み、論理的で分かりやすい文章が書けるように努力をして欲しい。

※注意
各課題は小テストの扱いとする。中間試験・期末試験ともに小テストとして成績に入れる。ただし、期末試験は10%の重みとする。

担当教員からのメッセージ

授業では、作文の書き方だけではなく、自己分析の仕方、問題解決の方法も扱います。アウトラインを書くことで、自己分析をし、これからの自分がどうあるべきかを考えてください。

授　業　の　明　細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 （予習・復習）
1	ガイダンス	授業の進め方、アウトラインの作り方、800字の作文の書き方を理解できる。課題1のアウトライン作成の注意事項を理解できる。	（予習）課題1のアウトラインを作成する。
2	課題1	課題2のアウトライン作成の注意事項を理解できる。課題1「自分の弱点とそれをどうなおすか」のアウトラインを完成させ、作文が書ける。	（予習）課題2のアウトラインを作成する。
3	課題2	課題3のアウトライン作成の注意事項を理解できる。課題2「学校での勉強を会社でどう生かすか」のアウトラインを完成させ、作文が書ける。	（予習）課題3のアウトラインを作成する。
4	課題3	課題4のアウトライン作成の注意事項を理解できる。課題3「私の職業観」のアウトラインを完成させ、作文が書ける。	（予習）課題4のアウトラインを作成する。
5	課題4	課題5のアウトライン作成の注意事項を理解できる。課題4「学生生活で得たものは何か、それを会社でどう生かせるのか」のアウトラインを完成させ、作文が書ける。	（予習）課題5のアウトラインを作成する。
6	課題5	課題6のアウトライン作成の注意事項を理解できる。課題5「私の人生会」のアウトラインを完成させ、作文が書ける。	（予習）課題6のアウトラインを作成する。
7	課題6	課題7のアウトライン作成の注意事項を理解できる。課題6「最近の世相と私たちの世代」のアウトラインを完成させ、作文が書ける。	（予習）課題7のアウトラインを作成する。
8	課題7	課題8のアウトライン作成の注意事項を理解できる。課題7「人間社会における科学の役割ー過去から未来へー」のアウトラインを完成させ、作文が書ける。	（予習）課題8（中間試験）の準備をする。
9	中間試験（課題8）		
10	課題8返却・解説 中間まとめ	答案（課題8）によって、各自の到達度を自覚し、次回のアウトライン作成に生かすことができる。課題9のアウトライン作成の注意事項を理解できる。	（予習）課題9のアウトラインを作成する。
11	課題9	課題10のアウトライン作成の注意事項を理解できる。課題9「私が会社で一番やりたい仕事」のアウトラインを完成させ、作文が書ける。	（予習）課題10のアウトラインを作成する。
12	課題10	課題11のアウトライン作成の注意事項を理解できる。課題10「今までに一番苦労して手に入れたもの」のアウトラインを完成させ、作文が書ける。	（予習）課題11のアウトラインを作成する。
13	課題11	課題12のアウトライン作成の注意事項を理解できる。課題11「挫折した経験とそれからどうやって立ち直ったか」のアウトラインを完成させ、作文が書ける。	（予習）課題12のアウトラインを作成する。
14	課題12	課題12「自己を語るⅡ」のアウトラインを完成させ、期末試験に備えることができる。	（予習）課題12のアウトラインを作成する。
	期末試験（課題12）		
15	課題12返却・解説 まとめ 授業改善アンケートの実施		
総　学　習　時　間　数			45 時間
講　　義			30 時間
自学自習			15 時間